社会福祉法人ゆたか福祉会広報



2022 No.472



#### 障害者の

#### ゆたかな。未来をめざして

「宇宙の草原」 つゆはし作業所 永田 一雄さん ※紹介が11ページにあります。

#### **CONTENTS**

| 4.9 職員集会開催      | P4~6        |
|-----------------|-------------|
| 2022年度 正規採用職員紹介 | $P7 \sim 9$ |
| 新規事業「まーぶる」スタート  | P12         |

2022年5月10日 毎月1回10日発行 一部100円 (法人会員·賛助会員は会費の中に購読料を含みます)



## シリーズ あ の『働く』を支える~

# 第一回 ワークセンターフレンズ星崎

# 「就労移行支援の実践」②



6名

て体調を崩し、うつ病と診断され の増加や対人関係の悩みが影響し

ました。その後、勤務していた店

就労定着支援

採用も視野に入れたい」と考えら たに仕事を探す中「障害者枠での 舗が閉店となったことに伴い、新

れ、就労移行を利用することにな

りました。

交流の場の必要性を改めて強く り、つどいや祝う会も開催を見 欲を高めていく場になります。 輩からの刺激を受け、就職の意 職を目指す利用者にとっては先 ましあったりする場であり、就 感じています。 合わせることが多く、こうした この2年間はコロナ禍によ

## 就職したあとの支援

いて報告します。

にスポットをあててその変化につ 職後の取り組みと、2名の利用者 メントや職業準備性の向上の支援

について報告しました。今回は就

援事業の主な機能として、

アセス

前回の4月号では、就労移行支

張った仲間と楽しく交流して励 生には一緒に就職を目指して頑 ど色々な報告があります。卒業

はじめに

の定着や就業生活の継続のための 支援へと続きます。職場や居宅を

ルではありません。私たちのかか わりは途切れることなく、職場へ ると「就職者を祝う会」を開催し て、その門出をみんなで祝福しま フレンズ星崎では、就職が決ま 就職は大きな節目ですがゴー

必要な資格を取得しました」な 戦やボーリング大会などの企画で 期的に開催して集団づくりをすす 職者のつどい」という交流会を定 繰り返し訪問したりして、本人や て仕事を教えています」「仕事で かった」「職場で後輩が入ってき じめてボーナスをもらってうれし 親睦を深めます。卒業生からは「は れぞれ近況を報告したり、野球観 就職を目指している利用者が、そ めています。就職した卒業生と、 係調整を行っていきます。 企業の相談にのりながら必要な関 また、個別の支援だけでなく「就

#### ■不安な気持ちに 寄り添って

店で働いていましたが、業務負担 A さん (2代女性) は元々飲食

> います。 ど色々なことで不安になる Aさ をとって話を伺いました。 くか1ヶ月くらい悩んでいた A 業所とフレンズ星崎のどちらに行 始される前、大手就労移行支援事 聞く」ということです。利用を開 言ってしまってよかったのかな?」 を超える面談も何度もあったと思 な気持ちや悩みについて十分時間 さんですが、その際も本人の不安 意識しているのは「とにかく話を る気質もあってか「あんなふうに ん。そんな彼女と関わる中で一番 `迷惑をかけていないかな?」な これまでの体験や本来持ってい ] 時間

事務職での就業を希望される A

することができました。
することができました。
することができました。
「人ともほぼ満点に近い得点で合格人ともほぼ満点に近い得点で合格力ることができました。

Aさんには、高校時代の就職活 外ら、面接に対してトラウマがあ りました。しかし先日、事前に取 り組んでいた面接練習の成果もあ り、見事採用面接を通過し、「これ で面接への苦手意識は消えたと思 います」と笑顔で報告がありまし た。「フレンズを選んでよかったと 思いますか?」とお伺いすると、「間 思いますか?」とお伺いすると、「間 ので答えてくれた A さんです。

## ■成長は少しずつ

Bさんは軽度知的障害のある20 代の男性です。中学校卒業後、進学や就労はせず、9年間在宅での日々を送っていましたが、ご家の日々を送っていましたが、ご家の日々を送っていましたが、ご家を目指すために訪ねて来られました。初めてお会いした時は、色々と質問しても同席されていたお母と質問しても同席されていたお母と質問しても同席されでいたお母との日は目を合わすことができなかったBさんでした。

状況や段階に応じて少し頑張れば 状況や段階に応じて少し頑張れば 状況や段階に応じて少し頑張れば が元だきました。取り組みの中で は、直前までできていた手順も突 は、直前までできていた手順も突 は、直前までできていた手順も突 は、直前までできていた手順も突 なっても相談がで きない等の様子が度々見られてい るか分からなくなっても相談がで きない等の様子が度々見られてい るか分からなくなっても相談がで もないでとか、次に何をす るか分からなくなっても相談がで もないであることや、次に何をす るか分からなくなっても相談がで もないまの様子が度々見られてい るか分からなくなっても相談がで をするかがのよくなっても相談がで もないました。 できていた手順も突 がこれていることや、次に何をす るか分からなくなっても相談がで もないまの様子が度々見られてい であるかがである。 できていた手順も突

必要です。

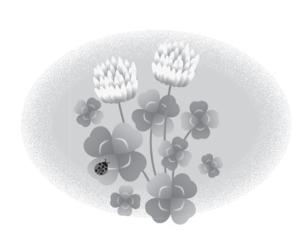
Bさんも日々の地道な積み重ねの結果、少しずつできることが増のには事されたに仕事を教えることが増して取り組める仕事も増え、他のして取り組める仕事も増え、他のしていた企業への就職が決まったとも会話することもできるようになり、先日、実習をとも会話することもできなかったとも会話することもできなかったとも会話することもできなかったとものが、気づけば「彼なら大大夫」と安心して送り出すことができるようになっています。

就労支援員 荒木 雄太

### ■今後に向けて

指そうとされる方々に「ここで頑れからも勇気をもって就職を目えます。次の10年を見据え、こ事業は、今年で10年の節目を迎事が出た。

任事をしていければと思います。 るような魅力ある事業所である るような魅力ある事業所である よう、常に支援の質の向上を図っ には、事業所や法人の中だけに には、事業所や法人の中だけに を通じて、多くの方々の人生に を通じて、多くの方々の人生に を通じて、多くの方々の人生に を通じて、多くの方々の人生に を通じて、多くの方々の人生に を通じて、多くの方々の人生に



## 3年ぶりの1日開催

## 職員集会を 、イブリッドで行いました!

#### はじ めに

辞令交付式等に臨む13名をはじめ、 2022 年度職員集会を開催しまし イン参加でした。 140 名余は各事業所からのオンラ 本部役員や担当スタッフ等約70名、 会場ですが、当日対面での参加者は た。定員が300名を超える広い 議場レセプションホールを会場に、 4 月9日(土)、 名古屋国際

の取り組みについての報告、権利擁 を学ぼう」をテーマに、講演と法人 護・虐待防止の取り組みについての 告が行われました。午後は「SDGS か福祉会 2022 年度事業計画の報 令交付式と資格取得者の紹介、ゆた 挨拶、2022 年度正規採用職員辞 自治会連合会・保護者連合会両会長 午前中は理事長挨拶から始まり、

報告が行われました。 以下、内容を紹介します。

たちの仕事、

障害者の人たちへの支

か福祉会の理念のひとつであり、私

#### ▼午前企画

#### 理 事長挨拶】

尽力を」と話されました。 年に亘るコロナ禍での職員の奮闘へ の感謝と、「引き続き支援と活動への も嬉しい」と述べられ、またこの? 職員集会が開催できたことが、とて まず理事長は「3年ぶりに1日の

な実態を見て、私たちは何ができる と共有したいと考えている」こと。そ か〟と心を痛め考える日々。皆さん アによるウクライナへの侵攻の悲惨 祉会をつくっていく決意である」こと 職を心から歓迎し、ともにゆたか福 点から行いたい」と述べられました。 して「SDGS 研修会への期待の3 「どうしても平和の問題。毎日、ロシ 特に平和の問題については「ゆた 次に今回の挨拶は、「新入職員の入

> 野から熱く語られました。 球の危機から~」と題して、広い視 害者問題と平和を考える~人類と地 られ、声明文の代読を挟みながら「障 援は平和なくしてありえない」と語

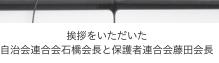
### 辞令交付式

チで紹介して頂きました。 き全員の方に、初任研修「事前レポー 13名が臨まれました。昨年に引き続 ト」で書いた内容を、1分間スピー 出席できなかった1名の方を除き、

習日程を再調整して頂き、゛ゆたか 間の実習がとても楽しかったから」「実 ク」、入職を決めたきっかけは「3日 て」「大学2年生の時のフィールドワー 学の友人からアルバイトを奨められ 「ゆたか福祉会との出会い」では「大



辞令交付式



#### 2022 年度 事業計画の報告

り一人から報告されました。

「健康第一」など、率直な思いがひと 頼」「チームアプローチ」「相手を知る くうえでの大事なキーワードでは「信 重〟をあげた方が一番多く、また働 れたから」、大切にするワードでは〝尊 のやさしさや思いやり、温かさに触

後藤法人本部長からは

- 1. 新型コロナウイルス感染症への対
- 2. 第6期総合計画の重点課題の取り 組み

職員の労働条件や労働環境の改善

4 3.

法人財政の状況と課題

2022 年4 月9 日

ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する抗議声明

社会福祉法人ゆたか福祉会 理事長 鈴木 清覺

2022 年2 月24日、ロシア・プーチンは一方的にウクライナへの軍事進攻 を開始しました。あの日から、50日を経て、事態は一層深刻の度を深めてい

ウクライナでは、1千万人を超える人々が戦火を避けて国内外に避難してい 般市民が避難した劇場や病院、学校などが無差別に攻撃され、 の命が奪われました。平穏に暮らしていた生活が突然脅かされ り合わせの恐怖の中にさらされ、障害のある人や高齢者の多 避難することが出来ず、極限の環境のなかに置かれています。

2次大戦後に築いてきた、平和への国際ルールも人道上の条約も無視した 今回のロシアによる軍事侵攻に強い憤りをもって抗議し、直ちに軍事的な侵攻 を中止し平和を取り戻すことを求めます。

また核兵器や生物・化学兵器の使用を示唆する行為は、唯一の被爆国である 日本の立場からも、断じて許すことは出来ません。

世界の障害者問題のとりくみにおいて画期となった"国際障害者年行動計画 (1980年1月採択)では、「障害者のうち多数の者は、戦争及び他の形態の 暴力の犠牲者であるという事実に想いを至すなら、国際障害者年は世界平和の ための諸国民間の継続的で強い協力の必要性を強調する」とされています。 平和であってこそ障害者の命が守られ幸せが実現できることは、我が国 と世界の経験の中でも明らかです。

また、障害者権利条約第十条「生命に対する権利」、第十一条「危険な状況 及び人道上の緊急事態 | からも今回のロシア軍の侵攻は許されるものではあり

私たちゆたか福祉会は、その理念に「平和」を掲げ取り組みをすすめてきた 歴史をもつ法人です。こうした危機的な事態に直面した今こそ、平和への連帯 と協同の行動に立ち上がり、その輪を広げていきましょう。

【講演】

拠点まーぶる・まーぶるホームの始 の整備と地域との連携構想」「ベトナ 動」「福祉村における新しい居住の場 いくことの大切さを強調されました。 トを注視し、 ムと3法人との連携事業の推進」 2点目については「地域生活支援 今後の支援に役立てて

波の感染者数(第4波は感染者の

1点目については第1波から第6

づく対策の徹底、「新型コロナ感染症 に関するご家族のアンケート」につ

「業務継続計画 (BCP)」に基

の4点に亘って報告が行われました。

告がありました。 許さない職場づくり」についての報 給休暇取得の変更」「ハラスメントを 年齢の見直し」「非正規職員の年次有 3点目としては「賃金改善」「定年

りやすい。職員の力が安心感を与え

い。特に感染した場合に孤独にな

てくださると思う」という

"声"を

各事業所で改めてアンケー

要望で「家族との連絡を密にしてほ

いることや事業所・法人に対しての

いて話されました。

アンケートでは、

コロナで困って

(施した職員アンケートに触れられ 特にハラスメントについてはこの間

> 相談したのがゼロ」であり、 ラに比べ、セクハラでは「相談窓口に もあり、セクハラについては同僚の多 先輩からが多いが、部下からのもの あったこと、パワハラの行為者は上司 最近1年以内に職場で経験・見聞 にくい傾向があると述べられました。 いことが報告されました。またパワハ した言動があるという回答が約2割 相談し

> > る格差や不公正がコロナにより顕在

いる地球の気候変動や、

社会におけ

あと8年、科学的に証明されてきて 組むことが大切」「目標達成期限まで

の生活も環境もここ20年で大変革 化しきていることを受け、産業も人々

出增。 原因としてはコロナにおける減収と支 ついては、福祉事業収入が初めて前 年度より減収する見込みであること、 10年間で10%上昇しており、 者の減少に比して、 4点目の法人財政の現状と課題に 具体的には退所などによる利 人件費率がこ

の対応が必要であると結ばれました。 用

◆午後 企 画

講師

テ

始めるために、

SDGSのとりくみを

様々なお話が、心に響きました。

平和な

S DGsって何かを学ぼう

ネットワーク理事・事務局長 般社団法人SDGs市民社会 新田 英理子 氏

くしてすべてのことがない」という 会なくして経済なし!今は、 環境なしではよい社会なし!良い社 関係資本、さらにその上に生産・経 スに自然環境があり、その上に社会 スの SDGs の考え方は、まずベー である認識を持つこと」「社会バラン 社会の不公正の課題は〝待ったなし〟 球が『続かない』気候変動の課題や はじめても大丈夫」「このままでは地 起こっていく。あきらめずに今か 済があると捉えることが大事」「自然

ち抜きで決めないで』からとても学 取り組み『わたしたちのことは私た 事と捉えていること」「障害者分野 性-誰一人取り残さない〟を最も大 んでいること」を話されました。 また「SDGs 原則の中で<sup>\*</sup>包

取り組みは、 はなく、目標に向かって個人や団 講師からは「SDGs 目標達成の 正解が一つということで

が自由に豊かに発想して旺盛に取

はいっぱい思いを持ちましり得る。同様に地球を救う機会を持り得る。同様に地球を救う機会を持いができることを頑張され、「今、我々ができることを頑張され、「今、我々ができることを頑張され、「今、我々ができることを視いていっぱい。(アジェリー)

ました。 ました。 ました。 ました。 ました。 ました。 ました。 まして、 まに、 まに、 まに、 なぐら荒川所長から「ゆたか福祉 はいて、委員であるグループハウ

責任者 熊谷 由美子ゆたか福祉会 SDGs 委員会

## 委員会からの報告権利擁護・虐待防止

述べられました。
化(これまでは努力義務)されたと
化(これまでは努力義務)されたと

またゆたか福祉会では、2016年度に2件の虐待事案が発生し、名 古屋市からの「業務改善指導」を おいて防止委員会を設けるなどの対 おいて防止委員会を設けるなどの対 たをとっているが、ここ数年はコロナ感染症への対応等も加わり、こう ナ 感染症への対応等も加わり、こうした会議が定期的に持てなくなって した会議が定期的に持てなくなって さている事業所もあると話されましきている事業所もあると話されました。

今後は改めて、会議の定例化や職員の研修を充実させていくこと、新員の研修を充実させていくこと、新員の研修を充実させていくこと、新員の研修を充実させていくこと、新いる、全事業所で統一的な対応ができるように整備をすすめていくことが報告されました。

めくくられました。の調査結果を、今後の事業運営に活いして欲しい」と訴えて、報告を締かして欲しい」と訴えて、報告を締めるくられました。

## きの アンケート

#### 〇事業計画

- 人件費率が10年で10%増加したが収入は減少しているというこかではにいると他が見えにくいいで、ひとつの事業所の中だけにいると他が見えにくいが、全事業所の問題だったのだが、全事業所の問題だったのだ。
- 聞きたかった。への運動に繋がっていくと思うへの運動に繋がっていくと思う財政面の共有をすることで行政

#### O S D G s

要だが、時間がかかると思う。課題。自分の価値観の転換は必何処を一致点にするかは大きないは強くあり実現させたいと思いは強くあり実現させたいと思誰一人取りのこさないという思誰

## 〇権利擁護・虐待防止

- していくことが必要だと思う。だあるという実態があるというながまだまなか言えない」雰囲気がまだまなか言えない」
- ・現場の人員体制がどこも厳しい。となっている中、障害の種別でいる。合べの負担が増えている中、に虐待・権利侵害が潜んでいる。

## (10年以上) 職員集会を終えて

いる職員集会・研修です。 立てを講じながらの開催となって

3年未満の職員からは、「研修等の機会が復活するのはとても嬉しの機会が復活するのはとても嬉しい」「ベトナムに行って交流や研修い」「ベトナムに行って交流や研修ないお話だったので、普段聞くことがないお話だったので、背くことができてよかった」「新設されたまーぶるの内部を見たかった」等の"声』が寄せられました。

なくことを期待します。 全体の約1/3という状況です。 と体の約1/3という状況です。 当日の録画や事前資料を活用し、 参加できなかった事業所・職員は もちろん、各事業所が改めて学び もちろん、各事業所が改めて学び もちろん、各事業所が改めて学び もたろん、各事業所が改めて学び

文責 研修部長

向幸子





**ゆたか作業所** まつした じゅんや **松下 隼也** 

○ 映画鑑賞、旅行、綺麗な景色を見ること

大学4年生の就職活動中に、ゆたか福祉会と出会いました。実習中に職員さんと仲間の皆さんが優しく接してくださり、働く場としてにぎやかで良い雰囲気を感じ「ここで働きたい」と思った事がとても印象に残っています。まだまだ未熟者で、分からない事だらけだと思いますが、信頼関係を重視し、周りの職員さんや仲間の方とコミュニケーションを取り、仲間の皆さんが楽しく働けるような支援を頑張りたいと思っています。



みのり共同作業所 すがた あ き こ **菅田 亜希子** 

○ カラオケ、食べること

これまで福祉を専門的に学んだ事はほとんどありませんが、「誰かのために働きたい」という思いで、パートとして働いてきました。「もう一歩踏み込んだ仕事がしたい」と思い、今年度よりエリア採用として入職することになりました。

知識不足な所も多いですが、今までの経験を元に、周りに助けてもらいながら、自分自身も周りの人を支えられる存在になっていきたいです。



リサイクル港作業所 き し の つばき **岸野 翼** 

○ 卓球、ドライブ

ゆたか福祉会との出会いは昨年の3月頃でした。企業 説明会に参加させていただき、丁寧でわかりやすい説明 をしていただいたこと。実際に施設で実習をさせていた だき、障害のある方と関わり支援をする中で、支援のや りがいや楽しさを感じたことがきっかけとなり、入職を 決めました。

まだまだわからないことだらけの状態ですが、仲間の方の気持ちに寄り添うことや、「仲間の方と共に」という思いを大切にし、精一杯頑張っていきたいと思います。

#### • 2022 年度

#### √正規採用職員紹介//

今年度も 14 名のみなさんが、正規採用職員として新たなスタートをしました。

初任研修では、ゆたか福祉会の経営理念「わたしたちの大切にするもの」尊重・参加・共同・運動・ 平和からひとつ選び、それぞれの思いを語り合いました。一番多かったのは「尊重」。迎える先輩職員も含め、初心を忘れず、共に育ちあえる職場づくりをすすめていきましょう。

○ 趣味・好きなことをお聞きしました。



みのり共同作業所 ゃまもと しょうま 山本 祥真

映画鑑賞、筋トレ、おいしい物を食べること

私はみのり共同作業所でアルバイトとして、2年間働いてきました。そのアルバイトを通して、現場で働いている仲間達や職員の方々の活き活きと作業をしている様子や、目標に向かって団結して作業に取り組む姿を見て「私もこの職場で働きたい」と考えました。

まだまだ力不足ではありますが、日々の仲間達の支援の中での一つひとつの気づきや、考えたことを大切にして、相手の立場に立って相手を尊重することができる職員になりたいと考えています。



**ゆたか希望の家** ゃました やすき **山下 恭生** 

○ 野球観戦

ゆたか福祉会との出会いは、大学の講義でゆたか福祉会を取り上げたことがあり、興味を持ち見学会に参加したことがきっかけでした。

3日間の実習では、仲間の皆さんのとても生き生きとした表情が印象的でした。仲間の笑顔を見て「私も力になりたい」と思い、ゆたか福祉会への入職を決めました。 先輩方を見習って、仲間がより良い生活ができるよう、これから学んでいきたいです。





あかつき共同作業所 \*\* ざき よしこ **尾﨑 佳子** 

○ 料理、読書

「新しいことに挑戦したい」という思いが、ゆたか福祉会で働くきっかけとなりました。

未経験の私を優しく、時には厳しく、育ててくれた仲間たちと 職員の皆さんのおかげで、仲間たちと過ごした時間は、自身の 成長にも繋がっていると感じています。

今年度からエリア採用職員となります。これまでの経験や 知識にこだわらず、視野を広くもち、初任研修で学んだ「よ く見る。よく聴く。よくする」に視点をおいた支援を心がけ ていきたいと思います。



#### 

○ 読書、子どもの寝顔を眺めること ヘルパーの資格をゆたか福祉会 で取得させていただいたときに、

フレンズ星崎を紹介していただき、パート職員として6年がたちました。

昨年、介護福祉士の資格も取得し「もっと自分にできることをしていきたい」と思い、エリア職員になることを決意し入職しました。資格を活かしながら、仲間とともに喜びを分かち合い、共に歩んでいける職員を目指していきたいと思います。



#### **ゆたか生活支援事業所尾張 高城 光司** ② スポーツ全般 (特にサッカー)

あかつき作業所とケアホーム徳重の二足の草鞋を半年程経験し、今は徳重ホームも3年が過ぎました。 入職のきっかけは東日本大震災から感じる事があり「支援に携わりたい」とずっと思っていました。あ かつき共同作業所を見つけた時、急いで電話した事を覚えています。

未経験の私も早3年。支援へ向き合い、色々な事を仲間・仲間の御両親・職員の皆さんに助けられながら、 今の自分が有ると思っています。これからも宜しくお願い致します。

#### \新所長紹介//

※昨年度、「所長代行」として紹介した石田誠樹さんは、今年度から「ゆたか生活 支援事業所みどり」の所長に任命されました。



リサイクルみなみ作業所 ままの かまり 大野 歌織

秀でた技能や能力はありませんが、 周りの方々になるべく迷惑をかけない

皆さんが積極的に自分の可能性にチャレンジし、働く喜びを実感し、長く働き続けられるように、力を尽くしたいです。福祉の現場で働いてきて、みんな一生懸命生きていると実感してきました。誰一人として、他者から生きていく事を脅かされない世の中が早く来

よう、根気強く仕事を覚えていきたいと思っています。

るように、微力でも取り組んでいく事が大切だと思っ ています。



トライズ にしはら ただし **西原 正** 

2013年に"資源回収みなみ"に入職し、後に"トライズ"へと名称が変わり、合

わせて9年と1カ月が経過しました。まさかの所長という 大役を任され、戸惑いや不安を感じながら、時間と心の余 裕がまだまだありません。周りの方々に教わりながら、施 設の成長と自身の成長にも繋げていきたいと思います。

いろいろと至らないところがございますが、皆様のご支援を頂きながら職員一丸となって、仲間が安全で安心に笑顔で働けるように努めたいと思っております。宜しくお願い致します。

#### デイサービスなぐら 水井 規照

初めての介護の現場で責任も大きく変わりましたが、頼もしく優しい職員の皆さんに支えられ、感謝しています。デイサービスのご利用者様にとっては"ひよっこ"で、45歳を過ぎて「かわいいお兄ちゃん」と呼ばれる日が来るとは思いませんでした。

福祉村が地域づくりに向けた取り組みを進める時に、中心的な役割を担う事業所に配属されたことにもご縁を感じています。「今日もデイに来て楽しかったよ」と言っていただけるよう努めます。



#### みのり共同作業所 きたけいくや **佐竹 郁哉**

まずは現場のなかまの皆さん、職 員さんとともに一から作業に取り組

む中で、それぞれの方々の視点を学びながら、相互の 理解を深めていければと思います。

またこれまでの経験を活かして「自分にできることは何なのか?」を考えていきたいです。今まで関わってきた皆さんに感謝しつつ、心機一転頑張ります。



#### ふれあい共同作業所 大石 **雅生**

今年度から副所長をつとめさせ ていただくこととなり、例年の年度

始めよりも一層緊張をしております。今後もまずは"なかまの方々と共に楽しむ"ことや、"なかまの想い"を大切にすること等、私が考えるこの仕事の原点を改めて意識し、日々の支援にも繋げていきたいと思います。

またこれまでの経験も活かしながら、なかまの方々やご家族、そして職員の方々からも信頼していただける副所長を目指していきたいと思います。よろしくお願い致します。



#### ゆたか生活支援事業所かさでら しみず りょうすけ **清水 亮如**

入職してから仲間、ご家族、職員 集団とたくさんの方に支えていただ

き、様々な事を学ばさせていただきました。これまで の経験を活かしながら、仲間と過ごす時間をより大切 にしていきます。

誰かが躓いた時には、一緒に悩み、考えることの出来る人でありたいと思います。また皆さんと協力をしながら、事業所かさでらを盛り上げていきたいです。まだまだ未熟ですが、自分らしさも忘れずに少しずつ成長が出来るよう頑張ります。

#### \新副所長紹介/



#### 

まだ私が企業で働いていた 時、ボランティアとしてゆたか

福祉会の「ほかほかコンサート」で、親御さん達の合唱団に参加しました。歌に込められた思いに涙し、そしてその時の職員と仲間たちの楽しそうに笑い合う姿に魅了され、その後縁あってパート職員となりました。

法人本部で正規職員として働き 12 年になります。ゆたか福祉会がずっと大切にしてきたものを継承しつつ、皆とともに"これから"をつくっていければと思っています。



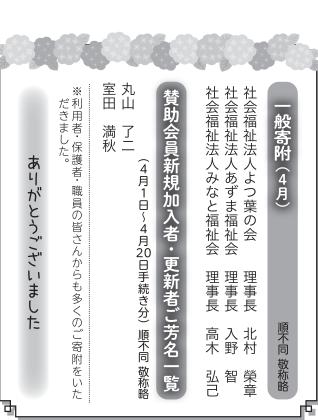
#### ゆたか生活支援事業所みなみ もがわ ひろや 小川 大也

入職当時は、慣れない業務を 日々こなしていくのに必死で、

周りをよく見て仕事することができていませんでした。しかし、8年という経験を経て、今度は自分が"要"として利用者の願いの実現はもちろん、職場の働きやすい環境づくり等を担っていかなければいけない立場になれたのだと、今回の辞令を受けて嬉しく感じました。

グループハウスなぐら・事業所かさでら・事業 所みなみでの豊富な経験を武器に頑張っていきた いです!!





3月 2日(水) 広報・ホームページ編集委員会 8日(火) 保護者連合会研修会 11日(金) 新所長研修 14日(月) 事業運営推進会議 15日(火) 2022年度正規採用職員初任研修 16日(水) 副所長会議 17日(木) 2022年度正規採用職員初任研修 21日(月) 理事会 23日(水) 所長会議 24日(木) 2022年度正規採用職員初任研修 26日(土) 評議員会 28日(月) 2022正規採用職員「援助担当者会議」/ 研修部会議 29日(火) 権利擁護·虐待防止会議 30日(水) 広報・ホームページ編集委員会

#### 表紙の作者紹介

「宇宙の草原」 つゆはし作業所 永田 一雄さん

まねきねこ班で毎日、班の自主製品である 「きょうされんふきん」や、様々な内職のお仕 事をされています。

長年自治会役員を続けており、今は副会長を務めています。優しく思いやりのある、つゆはしみんなの頼れる先輩です。今年度の目標は『給料・ボーナスアップのためにみんなと仕事をがんばる!』です。

絵は毎日、休憩時間に取り組まれ、3日から 1週間かけて1枚の絵を完成させます。今回の 『宇宙』のように、カラフルで線や丸を多く 使った作品が多いです。絵に使うペンやノート は自分のお給料で購入しています! グッズデザインコンクールには「全国という文字に心が燃えた!入選した時は本当に嬉しかった」と優しい笑顔で言われました。

#### 編集委員会より

これまでにも2018年9月号「ふくしむらはなび」、2019年5月号「宇宙から見て」というタイトルで、作品をお寄せいただいています。

今回の作品テーマは「宇宙の草原」。宇宙 シリーズでしょうか。またこれからも素敵な作 品をお届けください。スタッフ一同、楽しみに しています。

#### 広報・472号 -

2022年5月号(2022年5月10日発行) 定価1部100円

法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会

印 刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協力会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協力会費 = 年間 1 🗆 6,000 円、 賛助会員(個人1 🗆 3,000 円、企業団体等 1 🗆 5,000 円)

- ●銀行□座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会
  - ・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884 ・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425
- ●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

# 障害のある皆さんの地域生活をサポートする

# 地域生活支援拠点事業所まーぶる が開設しまし



#### はじめに

9月、ゆたか作業所・法人本部西側に工 ションを行い建設が決定しました。昨年 る」が無事完成しました。 事が着工し、3月に名古屋市で10か所目 になる「地域生活支援拠点事業所まーぶ 議を立ち上げ、名古屋市へのプレゼンテー この事業は2年前よりプロジェクト会

うなホームですね」と多くの方々から言 さいました。「とても広くて過ごしやすそ 日には竣工式と内覧会を行い、法人内外 あわせて約70名の皆さんが足を運んで下 4月1日より運営がスタート。4月5

葉をかけて頂きました。



ました。1階には大きな機械浴室を完備 される為、 寝て入る事ができる「寝浴」を設置。 し、座って入る事ができる「座浴」と、 ム」です。身体障害を持つ方が多く入居 この建物の2・3階が「まーぶるホ オールバリアフリーを採用し

> よう配慮した構造にもなっています。 う介護ベッドも設置しました。定住者と あり、どんな障害の方でも利用出来るよ 2つの短期入所室と1つの体験利用室が ことができます。また、事業所の機能と し、それぞれの障害に合わせて使用する 物の2・3階にも個浴の介護浴槽を完備 エリアを分け、お互いの生活が守られる して、2階のエレベーターホールを挟み、

行事、 能な構造になっています。 感染症対策としても、感染者や濃厚接触 所として活用できるようになっています。 式の壁を設置し、2つの個室に転用が可 者が発生した場合に活用できるよう可動 4階の多目的室は入居者の日中活動や 研修や会議、災害時には福祉避難

## 明るく、楽しく、いつも笑顔で

が揃う予定です。大半は設楽町にある「グ 2階で生活する皆さんが入居され、17名 の生活がスタートしました。9月以降 4月10日、 まず3階に入居する利用者

> 所がスタートします。 たヘルパー利用や、日中活動施設への通 された皆さんは、これまで利用出来なかっ とになりました。入所施設から生活を移 た4名の方が、生活の場を移行されるこ ループホームでの生活が送りにくくなっ 高齢化や障害の重度化により、既存のグ の場を移行される方々です。また今回 ループハウスなぐら」から名古屋へ生活

う、一層努力していきたいと思います。 地域の多くの方々に足を運んで頂けるよ いと思っています。拠点事業所としても、 集団で一丸となって、支援を進めていきた いつも笑顔で過ごして頂けるよう、職員 まーぶるでの生活が、明るく、楽しく い生活に慣れようと皆さん一生懸命です。 ゆたか生活支援事業所みなみ 初めての事ずくめの生活ですが、 西原 恵美

